

令和7年5月19日

総務大臣 村上 誠一郎 殿

加賀ケーブル株式会社
代表取締役社長 高田 直彦

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和4年 3月18日
- (2) サービス開始日 : 令和4年 4月 1日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目 標 (目標年度)	(実績値/目標値)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
家庭用 Wi-Fi の設置数	3,075 世帯 (令和8年度)	524 /600	885 /1,200	1,201 /1,800	— /2,400	— /3,075

(参考)

提供可能回線数	利用回線数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
5,272回線	524	885	1,201	—	—

3. 目標達成に向けて実施した取組

光インターネットサービス加入（新規契約及び同軸サービスからの切替時）に、当社から Wi-Fi 内蔵の D-ONU を設置し、加入者に Wi-Fi 機器購入の負担をなくした。毎月、各地区で加入相談会を開催し、加入促進の取組を実施した。3年以上契約の方への工事費無料キャンペーン、月額費用の割引を実施。そのほか営業の外部委託を行った。

4. 評価

Wi-Fi の設置数及び利用回線数（累計）

令和4年度の Wi-Fi の設置数 524 世帯 利用回線数 524 回線

令和5年度は Wi-Fi の設置数 361 世帯 利用回線数 885 回線

令和6年度は Wi-Fi の設置数 1,201 世帯 利用回線数 1,201 回線

令和6年度までの Wi-Fi の設置目標 1,800 世帯に対して 66.7%の達成率にとどまっている。このエリアにおいてサービスを提供している競合他社が数社あり、サービス開始に合わせて、キャンペーンなどの取組のほか、新聞広告、ダイレクトメール送付、相談会を実施したが、想定以上に加入数が伸び悩みました。想定以上に伸び悩んだ理由として、新型コロナウイルスが令和5年5月に5類に移行した後も、住民の不安感からか、人が集まる場（説明会等）への参加者が伸び悩んだことや個別訪問があまり実施できなかったため、未加入者に対して実行速度の優位性や必要に応じたサービスプランを伝えきれていなかったことが要因と考えている。現在ではこうした不安は解消されつつあることから、加入相談会の参加者の増加も見込め、再評価時には目標達成は可能と考えている。

5. 課題への対応策（中間評価のみ）

Wi-Fi の設置数及び利用回線数

引き続き工事費無料、月額費用の割引のキャンペーンを継続し販促活動を実施する。

今後は小規模のエリア（町内会単位等）での加入相談会を行い、参加者の増加や、営業の外部委託による個別訪問で未加入者への周知を強化し、かつ、新聞広告・チラシ・ダイレクトメール送付等を駆使して周知に努め、加入世帯数の増加につなげ、無線局の開設目標を達成する見込みである。